

# 富山大学 学報

## 第211号

### 目 次

学 長 告 辞.....	2	学 事.....	11
関 係 法 令.....	3	学位取得者.....	11
学 内 規 則.....	5	昭和56年度情報処理関係内地研究員の決定.....	11
富山大学経営短期大学部学則の一部改正.....	5	人 事 異 動.....	11
富山大学学則の一部改正.....	5	学 内 諸 報.....	18
富山大学大学院学則の一部改正.....	6	名誉教授称号授与.....	18
富山大学短期高等教育機関（高岡）創設準備室		海外渡航者.....	19
規則の制定.....	7	職 員 消 息.....	19
富山大学短期高等教育機関（高岡）創設準備委		主 要 行 事.....	22
員会規則の制定.....	8	資 料.....	24
富山大学大学院理学研究科規則の一部改正.....	8	昭和56年度富山大学入学者数.....	24
諸 会 議.....	10		

## 学 長 告 辞

## 昭和56年度富山大学入学式 学長告示

新入生の皆さん、諸君はこの度富山大学へ入学され、諸君にとって長い学校生活の最終的なまとめの段階に入ることになったわけであります。

この意義深い日に当りまして、諸君をお迎えする私共本学教職員一同は、心からおめでとくと申し上げたいと思います。そこで記念すべき今日の日、私の所感の一端を述べさせていただきます、本学における諸君の大学生活上の、一つの参考にしていただければ幸いです。

私は最近、本学の誇る国文学者であられる名誉教授大島文雄先生の「日本人の心」と題する御講演の記録を読ませていただきました。先生は日本人の心の発展過程を考察され、上代における、つつましさの精神から、中世に入って、能や茶道、あるいは武士道にみられるような、何か人間性を抑えるような、いわゆる「型」の精神、つまり一つの型を大切にする精神に固まってきたと指摘しておられます。その間、その「型」を大事にする精神は、家を大切に、国を思うという精神を培ってゆき、日本独特のいわゆるタテ社会ができ上ってきたのだというのであります。

これを読んで私は、戦後の混乱期を思い出しました。その頃我が国には、欧米の個人尊重の精神がなだれのように入ってきて、それまで自我に弱かった日本人が、自我の強い精神を尊ぶようになったことを、この眼でみてきました。その結果、互に人権をもった個人同志が対等の立場で相接するという欧米風のヨコ社会が生れてきました。ただこのヨコの社会は、日本古来のタテ社会の中に、充分なじみ切れないうまま、入れ子の形で共存しているというのが、現在の日本の姿のように思えてなりません。

私は正直申しまして日本古来の精神が良いのか、欧米的な精神が良いのか、よく解りませんが、ここで私は大島先生のいわれる中世日本の「型」の精神について考えてみたいと思います。この精神構造にみられる思考上の大きな欠陥は、型に縛られて新しい考えが浮んで来難いという点にあると思います。御存知のように、日本人は創造性に乏しいと言われていました。自動車にしても、コンピューターにしても、その原理的なことを発見し、造り上げてきたのは欧米人ですが、一旦こうしてでき上ったものを改良し、能率よく生産レベルにのせてゆくということになりますと、日本人の腕の見せ所となるのです。また学問的にもノーベル賞受賞者が我が国には極めて少いという実状をみると、やはり日本古来の型の精神構造が邪魔になっているような気がしてなりません。

この点をもう少し考えてみましょう。我が国では古来、型破りの人というと、一般社会では仲々快よく受け入れられないようです。しかし私の接している多くの学者の方々をみてみますと、ある程度の成果をおさめている人々には、精神構造上型破りの人が多いように見受けられます。ここで型破りというと誤解される恐れがありますが、発想のし方が一方向性でなく、多方向性であるという点が重要なのだと思います。言い換えると自由な発想、これが大切なのです。小さい子供は時折、大人では到底考えられないようなことをしたり、考えたりしますが、あの柔軟い頭が大切なのだと思います。我が国では戦後30年以上もの間、じかに欧米の思想にさらされて来ましたが、未だに本質的には、思考の上では型の精神から抜け切れていないのだということを痛感させられます。自由な発想、これは諸君がこれから充分身につけていただきたい点であります。

ここで型というものを別の観点から考えてみたいと思います。先程、欧米では昔から個人尊重の思想が定着していることについて述べましたが、最近の欧米では個人尊重の精神から極端なまでの個人主張の方向へ変ってきたといわれています。アメリカのある識者は、1970年代にアメリカ人は自己中心になり過ぎてしまったと批判しています。ベトナム戦争で負けたのもそのためだし、あの産油国であるアメリカでオイルショックに弱かったのも、大衆

が大型車で110キロものスピードでハイウェイを飛ばし廻っているからであると指摘しています。また現在のアメリカにおける自動車産業の衰退も、企業と労働者とがばらばらになって自己の利益だけを追求した、その報いなのだと手厳しく言い切っています。我々はこれを他所の国のことと片付けていいでしょうか。最近の我が国でも同じような風潮が至る所にみられますが、一人一人がそんなにバラバラになってしまっ、住みよい社会が営めるとは考えられません。

ここであらためて考え直してみねばならないことは、言うまでもなく、我々個人は社会の構成メンバーであって、個人あつての社会であり、社会あつての個人であるということでもあります。これが基調になって往年の欧米風の個人尊重の精神が実を結んだのだと思います。——そして一つの社会には、それを構成する個々人の平均的利益とか尊厳とかを守るためのルールという型ができています。独り善がり、この型を逸脱することは、反社会的行為として、他の社会人から厳しく指弾されることは、諸君もよく御存知のことと思います。このように現在の民主主義社会においては、社会の一員である個人の自由には自ら限界があるということは、認めざるを得ません。これから大学生の一員となる諸君にとって、この個人の自由の限界を知ることも、大学生としての自覚をもつことと一体のものであるということをおき願いたいと思います。

最後に一つ付け加えたいことがあります。諸君は大学に入って、それぞれ専門の課程で学ぶことになるわけですが、大学に入って学ぶことは、決められた科目をこなすということだけではありません。その他にも、自ら進んでスポーツ活動や文化活動などを通じて、何かを学びとろうとする努力も大切だと思います。これに関連して最近私がガッカリしたことがあります。それは本学生協同組合が行った読書に関するアンケート調査の結果についてのことです。それによりますと、本学の学生諸君の平均読書時間は全国の大学生のそれをかなり下廻っているということです。大学に入って何となく授業に出て、あとの時間は何となくぼんやり過すという傾向が最近目立っていると聞いていますが、この読書についてのアンケートの結果とそのことと何か関係があるような気がして、気懸りでありません。

本日私は日常の思考の上では型を破ってほしい、しかし日常の生活の上では型を守ってほしいということを申し上げました。言葉の上では一見相反するような表現ですが、この点をもう一度じっくりと考え直してみてください。これからは諸君の一人一人が、大学に進学してきた意義を意識的に考えながら、授業に、課外活動に、あるいは読書に励んでください。そして自主性をもって、有意義な大学生活を送り、社会への船出の準備を整えていただきたいと思ひます。

昭和56年4月10日

富山大学長 柳田 友道

---

## 関 係 法 令

---

**法 律**

- 国立学校設置法の一部を改正する法律（23）

(官報掲  
載月日)

4・14

**政 令**

- 国立大学の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令（78）
- 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令（79）
- 教育公務員特例法施行令の一部を改正する政令（81）

4・1

〃

〃

- |   |      |
|---|------|
| ○国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(126) | 4・14 |
| ○教育公務員特例法施行令の一部を改正する政令(127)                 | 〃    |
| ○国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令(134)               | 4・21 |

## 省 令

- |   |      |
|---|------|
| ○国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(文部12)                         | 3・31 |
| ○国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令(文部13)                                 | 〃    |
| ○国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(文部15)                         | 4・1  |
| ○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部16)                                      | 〃    |
| ○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部17)                      | 〃    |
| ○文部省設置法施行規則の一部を改正する省令(文部19)                                       | 4・3  |
| ○文部省定員規則の一部を改正する省令(文部20)  | 〃    |
| ○国立学校設置法に規定する共通第一次学力試験に係る費用の納付手続の特例に関する省令の一部を改正する省令(大蔵19)         | 4・14 |
| ○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部21)                                      | 〃    |
| ○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部22)                      | 〃    |
| ○国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令(文部23)                         | 〃    |
| ○国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令(文部24)                                 | 〃    |
| ○教育公務員特例法施行令第三条の二の規定に基づく国立大学共同利用機関の長等の選考の手続に関する省令の一部を改正する省令(文部25) | 〃    |
| ○文部省定員規則の一部を改正する省令(文部26)  | 〃    |
| ○国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令(大蔵20)                                    | 4・15 |

## 規 則

- |   |      |
|---|------|
| ○人事院規則(非常勤職員の給与)の一部を改正する規則(人事院9-1)                  | 4・1  |
| ○同(俸給の調整額)の一部を改正する規則(同9-6)                          | 〃    |
| ○同(俸給の特別調整額)の一部を改正する規則(同9-17)                       | 〃    |
| ○同(特殊勤務手当)の一部を改正する規則(同9-30)                         | 〃    |
| ○同(指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額)の一部を改正する規則(同9-42)           | 〃    |
| ○同(沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律の規定による特別の手当等)の一部を改正する規則(同9-59) | 〃    |
| ○同(俸給表の適用範囲)の一部を改正する規則(同9-2)                        | 4・14 |
| ○同(俸給表の適用範囲)の一部を改正する規則(同9-2)                        | 4・24 |
| ○同(俸給の調整額)の一部を改正する規則(同9-6)                          | 〃    |
| ○同(初任給,昇格,昇給等の基準)の一部を改正する規則(同9-8)                   | 〃    |
| ○同(俸給の特別調整額)の一部を改正する規則(同9-17)                       | 〃    |
| ○同(調整手当)の一部を改正する規則(同9-49)                           | 〃    |
| ○同(災害を受けた職員の福祉施設)の一部を改正する規則(同16-3)                  | 4・30 |

## 告 示

- |  |     |
|--|-----|
| ○大学等の研究機関等における組換えDNA実験指針の規定に基づき宿主一ベクター系をBIレベルの宿主一ベクター系として認定した件(文部46) | 4・1 |
|--|-----|

## 学 内 規 則

### 富山大学経営短期大学部学則の一部改正

富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和56年4月9日

富山大学長 柳田 友道

#### 富山大学経営短期大学部学則の一部を改正する学則

富山大学経営短期大学部学則（昭和34年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第34条中「(4) 検定料4,500円」を「(4) 検定料5,000円」に改める。

第36条中「入学科として8,000円」を「入学科として10,000円」に改める。

#### 附 則

- この学則は昭和56年4月9日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。
- 昭和56年度の聴講生の入学に係る検定料の額は、第34条第4号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### ▶富山大学経営短期大学部学則の改正理由

国立の学校における聴講生の検定料及び入学科の額が改訂されたことに伴い関係条文を改める。

### 富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和56年4月17日

富山大学長 柳田 友道

#### 富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和25年1月20日制定）の一部を次のように改正する。

第66条第2項中「4,500円」を「5,000円」に、「24,000円」を「30,000円」に改める。

第67条第4項中「4,500円」を「5,000円」に、「8,000円」を「10,000円」に改める。

別表第1の人文学部の項中「言語学」を「言語学文化構造論」に改め、同表教育学部の項中「異常児教育」を「障害児教育」に、「異常児心理」を「障害児心理」に、「異常児の病理」を「障害児病理」に改め、同表経済学部の項中「金融論」を「金融論財政学」に改める。

別表第2中

「

人文学部	人文学科	80	320
	語学文科学科	80	320

」を

人文学部	人文学科	90	330
	語学文学科	80	320

」に、

経済学部	経済学科	120	480
	経営学科	120	480
	経営法学科	60	120

」を

経済学部	経済学科	120	480
	経営学科	120	480
	経営法学科	60	180

」に、

合	計	1,185	4,620
---	---	-------	-------

」を

合	計	1,195	4,690
---	---	-------	-------

」に改める

**附 則**

- この学則は、昭和56年4月17日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。
- 昭和56年度の専攻生、研究生及び聴講生の入学に係る検定料の額は、第66条第2項及び第67条第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**▶富山大学学則の改正理由**

- 富山大学における専攻生、聴講生等に係る検定料及び入学料を改訂するため、所要事項を改める。
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の改正に伴い、人文学部人文学科に「文化構造論」を、経済学部経済学科に「財政学」をそれぞれ加え、教育学部の異常児に係るものを障害児に改める。
- 学生の入学定員及び総定員について、人文学科の入学定員の改訂並びに経営法学科の学年進行に伴い、所要事項を改める。

**富山大学大学院学則の一部改正**

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和56年4月17日

富山大学長 柳田 友道

**富山大学大学院学則の一部を改正する学則**

富山大学大学院学則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第1条中「第7条」を「第7条第2項」に改める。

第6条中「生物学専攻」の次に「、地球科学専攻」を加える。

別表第1中

「	生物学専攻	8名	16名	」を	
「	生物学専攻	8名	16名	」に、	
「	地球科学専攻	8名	8名		
「	工業化学専攻	10名	18名	」を	
「	工業化学専攻	10名	20名	」に、	
「	合	計	96名	190名	」を

「 | 合 計 | 104名 | 200名 | 」に改める。

別表第2中

「 | 生物学専攻 | 」を

「 | 生物学専攻 |  
| 地球科学専攻 | 」に改める。

#### 附 則

この学則は、昭和56年4月17日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

#### ▶富山大学大学院学則の改正理由

- 1 理学研究科に地球科学専攻が設けられたことに伴い、所要事項を改める。
- 2 工学研究科工業化学専攻の学年進行に伴い、所要事項を改める。
- 3 規定を整備するため字句等を改める。

## 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室規則の制定

富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室規則を次のとおり制定する。

昭和56年4月17日

富山大学長 柳田 友道

### 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室規則

(設 置)

**第1条** 当分の間、富山大学「以下「本学」という。)に、短期高等教育機関(高岡)の創設準備に関する事務を処理するため、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室(以下「創設準備室」という。)を置く。

(職 員)

**第2条** 創設準備室に室長その他必要な教職員を置く。

- 2 室長は、本学の学長又は教授をもって充てる。

(創設準備委員会)

**第3条** 本学に、創設準備室の行う創設準備に関する事務のうち教員の人事その他創設準備に関する重要事項を審議するため、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会(以下「委員会」という。)を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶 務)

**第4条** 創設準備室の庶務は、庶務部庶務課において処理する。

#### 附 則

- 1 この規則は、昭和56年4月17日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。
- 2 創設準備室の教員には、富山大学教員の停年に関する規則(昭和32年2月8日制定)は、適用しないものとする。
- 3 創設準備室の教員は、富山大学学長選考基準(昭和28年5月28日制定)の規定にかかわらず、学長選挙資格を有しないものとする。
- 4 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備調査室設置規則(昭和55年5月23日制定)は、廃止する。

#### ▶富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室規則の制定理由

鳴門教育大学及び鹿屋体育大学並びに歯学部附属病院等の創設準備等組織要項(昭和56年3月31日文部大臣裁定)IIに基づき、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室について必要な事項を定めるとともに富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備調査室設置規則(昭和55年5月23日制定)を廃止する。

## 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会規則の制定

富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会規則を次のとおり制定する。

昭和56年4月17日

富山大学長 柳田 友道

### 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会規則

(趣 旨)

**第1条** この規則は、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備室規則第3条第2項の規定に基づき、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会(以下「委員会」という。)について必要な事項を定める。

(組 織)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。ただし、教員の人事に係る事項を審議するときは、第4号の者を除く。

- (1) 学長
- (2) 室長
- (3) 学部長及び教養部長
- (4) その他学長が必要と認めた者

(委員長)

**第3条** 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(専門委員会)

**第4条** 委員会に、専門的事項を調査審議するため、必要に応じ専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

### 附 則

- 1 この規則は、昭和56年4月17日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。
- 2 富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備調査室教員選考委員会規則(昭和55年5月23日制定)は、廃止する。

### ▶富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会規則の制定理由

鳴門教育大学及び鹿屋体育大学並びに歯学部附属病院等の創設準備等組織要項(昭和56年3月31日文部大臣裁定)Ⅱに基づき、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備委員会について必要な事項を定めるとともに、富山大学短期高等教育機関(高岡)創設準備調査室教員選考委員会規則(昭和55年5月23日制定)を廃止する。

## 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正

富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和56年4月17日

富山大学長 柳田 友道

### 富山大学大学院理学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院理学研究科規則(昭和53年4月1日制定)の一部を次のように改正する。

別表中生物学専攻の項の次に次のように加える。

(次のようは、別表のとおり)



## 附 則

この規則は、昭和56年4月17日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

## 別 表

地球科学専攻	地殻構造学	地球磁気学	2	○印は必修科目	
		固体地球物理学	2		
		地殻構造学特論	2		
		地震学特論	2		
		地球周辺物理学	1		
	地殻進化学	火山学	2		
		地域地質	2		
		構造地質学	2		
		地質学特論	2		
		岩石学特論 I	2		
		岩石学特論 II	2		
	陸水学	陸水化学特論	2		
		地球化学特論	2		
		同位体地学特論	2		
		環境化学特論	2		
	雪氷学	雪氷学特論	4		
		積雪物理学	4		
		大気物理学	1		
			○ゼミナール		4
			○課題研究及び研究論文		18

## ▶ 富山大学大学院理学研究科規則の改正理由

理学研究科に地球科学専攻が設置されたことにより同専攻に係る授業科目を加える。

---

**諸 会 議**

---

**昭和56年度第1回大学院委員会（4月17日）****（審議事項）**

- (1)富山大学大学院学則の一部改正について
- (2)富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (3)富山大学大学院理学研究科（修士課程）地球科学専攻入学試験合格者の判定について

**昭和56年度第1回評議会（4月17日）****（報告事項）**

- (1)富山大学大学院理学研究科（修士課程）地球科学専攻入学試験合格者の判定について
- (2)昭和56年度富山大学人文学部、工学部入学者選抜試験合格者の補充（4月6日持ち回り評議会）について

**（審議事項）**

- (1)富山大学大学院学則の一部改正について
- (2)富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (3)富山大学学則の一部改正について
- (4)富山大学人文学部教授会規則の一部改正等について（継続審議事項）
- (5)富山大学教養部教授会規則の一部改正について（継続審議事項）
- (6)富山大学短期高等教育機関（高岡）創設準備室規則の制定について
- (7)富山大学短期高等教育機関（高岡）創設準備委員会規則の制定について
- (8)入学式々場について
- (9)富山大学名誉教授称号授与について
- (10)学生の除籍について（教養部）

**授業料等減免選考委員会（4月23日）****（審議事項）**

- (1)昭和56年度学部入学生の入学料免除について

**昭和56年度第1回補導協議会（4月23日）****（審議事項）**

- (1)第26回大学祭並びに第5回体育祭について

**富山大学入学者選抜健康診断判定基準専門委員会（4月24日）****（審議事項）**

- (1)健康診断判定基準の改善に関する継続審議

**富山大学構内交通対策委員会（4月24日）****（審議事項）**

- (1)富山大学構内交通規制に関する暫定要項及び同暫定実施細目の見直しについて

## 学 事

## 学 位 取 得 者

取得者 工学部 講師 畠山豊正  
 取得学位 工学博士（東京工業大学）  
 取得年月日 昭和56年3月31日  
 学位論文名 液晶の音響的性質と音響工学への応用

## 昭和56年度情報処理関係内地研究員の決定

学 部	官 職	氏 名	研 究 場 所	研 究 題 目	研究期間
人文学部	助教授	鈴木 敏昭	国立国語研究所	言語調査の電算機処理	56. 5. 1 ↓ 57. 2. 27

## 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	56. 4. 1	磯 部 彰		講師（人文学部）	富山大学長
	〃	河 野 信 弘		教授（教育学部）	文 部 大 臣
	〃	宗 孝 文		助教授（ 〃 ）	〃
	〃	後 藤 敏 伸		助手（ 〃 ）	富山大学長
	〃	斉 藤 昭		教諭(教育学部附属小学校)	〃
	〃	老 月 敏 彦		〃（ 〃 ）	〃
	〃	糸 谷 邦 雄		〃（教育学部附属中学校）	〃
	〃	布 尾 英 二		〃(教育学部附属養護学校)	〃
	〃	大 場 繁 実		〃（ 〃 ）	〃
	〃	窪 田 陽 呂 子		〃（ 〃 ）	〃

	56. 4. 1	常川 允子		教諭(教育学部附属幼稚園)	富山大学長
	"	高辻 則夫		助手(工学部)	"
	"	石川 義和		講師(教養部)	"
	"	竹内 勝		文部事務官(人文学部・理学部)	"
	"	川邊 誠		"(教育学部)	"
	"	能波 輝之		"(経理部経理課)	"
	"	澤崎 勝彦		"(経理部主計課)	"
	"	山田 豊		"(経済学部)	"
	"	塚原 美幸		"(附属図書館)	"
	"	米山 嘉治		文部技官(工学部)	"
	"	三宅 均		"(トリチウム科学センター)	"
	"	澁谷 喜久子		事務補佐員(工学部)	"
	"	庄司 久恵		"( " )	"
	"	金森 敦子		教務補佐員(教養部)	"
	56. 4. 8	竹森 義雄		臨時用務員(人文学部・理学部作業員)	"
	"	辻澤 彌八郎		"(教育学部作業員)	"
	56. 4. 10	黒田 智子		"(工学部作業員)	"
	56. 4. 13	藤木 彌三郎		事務補佐員(附属図書館)	"
	"	田村 清松		"( " )	"
	56. 4. 20	永井 正夫		臨時用務員(教育学部作業員)	"
昇任	56. 4. 1	小谷 伸男	助教授(鳥取大学教育学部)	教授(人文学部)	文部大臣
	"	夫馬 進	講師(人文学部)	助教授(人文学部)	"
	"	和田 晴吾	"( " )	"( " )	"
	"	寺津 典子	"( " )	"( " )	"
	"	草薙 太郎	助手( " )	講師( " )	富山大学長
	"	長谷川 總一郎	講師(教育学部)	助教授(教育学部)	文部大臣
	"	中村 義朗	"( " )	"( " )	"
	"	大石 昂	"( " )	"( " )	"
	"	中井 毅	教諭(教育学部附属小学校)	教頭(教育学部附属小学校)	"

昇任	56. 4. 1	飯田剛史	助手(京都大学文学部)	講師(経済学部)	富山大学長
	"	萩野聡	"(北海道大学法学部)	"( " )	"
	"	袋谷賢吉	"(工学部)	"(工学部)	"
	"	長谷博行	文部技官(工学部)	助手( " )	"
	"	平井通郎	講師(教養部)	助教授(教養部)	文部大臣
	"	岡村信孝	"( " )	"( " )	"
	"	濱口脩	"( " )	"( " )	"
	"	芳賀健一	"(経営短期大学部 経営学科)	"(経営短期大学部 経営学科)	"
	"	寺西千代子	助手( " )	講師( " )	富山大学経営 短期大学部学長
	"	山内好朗	庶務部庶務課長	福井工業高等専門学校事務部長	文部大臣
	"	東敏	教養部会計係会計主任	体育局スポーツ課登山研修 所庶務係長	"
	"	今井稔	人文学部・理学部用度係用 度主任	富山商船高等専門学校会計 課出納係長	富山商船高等 専門学校長
	"	松永良成	文部事務官(経理部経理課)	人文学部・理学部用度係用 度主任	富山大学長
	"	佐野勤	"(工学部)	経済学部学務係学生主任	"
	"	東仙博	"(経理部主計課)	教養部会計係会計主任	"
	転任	56. 4. 16	久保文夫	助手(北海道大学応用電 気研究所)	助教授(理学部)
56. 4. 1		林征紀	体育局スポーツ課登山研修 所庶務係長	人文学部・理学部用度係長	富山大学長
"		村中一男	富山商船高等専門学校会計 課出納係長	工学部管理係長	"
"		羽広孝司	文部事務官(富山商船高等 専門学校庶務課)	文部事務官(人文学部・ 理学部)	"
"		松田壽直	"(経理部経理課)	"(福井医科大 学会計課)	福井医科大学長
"		武田勇夫	"(施設課)	"(福井医科大 学施設課)	"
"		大杉登	"(経済学部)	"(経営短期大学部)	富山大学経営 短期大学部学長
配置換	"	門前剛二	"(乗鞍青年の家 事業課)	"(庶務部庶務課)	富山大学長
	56. 4. 1	永田英正	教授(人文学部)	教授(滋賀大学教育学部)	文部大臣
	"	片山忠次	助教授(教育学部)	助教授(兵庫教育大学学 校教育学部)	"
	"	藤本正文	"(経営短期大学部 経営学科)	"(岩手大学人文社 会科学部)	"
	"	松本実	岐阜大学庶務部庶務課長	庶務部庶務課長	"
	"	名古正志	施設課長	北海道大学施設部建築課長	"
"	前島健治	信州大学施設部建築課長	施設課長	"	

配置換	56. 4. 1	山口 照 見	学生課長	岐阜大学庶務部庶務課長	文 部 大 臣
	"	樋 口 信 篤	香川大学学生課長	学生課長	"
	"	鬼 澤 三 郎	厚生課長	東北大学庶務部広報調査課長	"
	"	内 海 稔 雄	大島商船高等専門学校 学生課長	厚生課長	"
	"	土 井 盛 治	附属図書館事務長	人文学部・理学部事務長	"
	"	竹 岡 環	人文学部・理学部事務長	附属図書館事務長	"
	"	高 崎 公 文	工学部事務長補佐	人文学部・理学部事務長補佐	"
	"	川 原 富 雄	人文学部・理学部事務長補佐	工学部事務長補佐	"
	"	湊 馨	経理部主計課司計係長	庶務部庶務課企画係長	富山大学長
	"	奥 田 真 一	経理部経理課出納係長	経理部主計課司計係長	"
	"	井 城 小三郎	人文学部・理学部経理係長	経理部主計課管財係長	"
	"	刈 賀 春 樹	経理部主計課管財係長	経理部経理課出納係長	"
	"	田 中 祥 男	人文学部・理学部用度係長	人文学部・理学部経理係長	"
	"	杉 本 周 平	文部事務官 (人文学部・ 理学部)	文部事務官(庶務部庶務課)	"
	"	奥 田 都	文部技官 (工学部)	文部技官 (経理部経理課)	"
	"	武 田 知己郎	文部事務官 (人文学部・ 理学部)	文部事務官 (施設課)	"
	"	霜 越 隆 晴	" (教育学部)	" (人文学部・ 理学部)	"
	"	坂 東 康 子	" (附属図書館)	" ( " )	"
	"	長 崎 悟	" (経済学部)	" (教育学部)	"
	"	川 上 重 信	" (教育学部)	" (経済学部)	"
"	蘆 田 完	文部技官 (経理部主計課)	文部技官 (庶務部庶務課)	"	
降 任	56. 4. 1	白 野 明	教育学部附属学校第一係長	教育学部附属学校第一係 総務主任	"
併 任	56. 4. 1	柳 田 友 道	富山大学長	短期高等教育機関(高岡) 創設準備室長に併任する	文 部 大 臣
				" ( " ) 創設準備調査室長の併任は 終了した	
	"	本 田 弘	教授 (人文学部)	教授 (文理学部)	"
	"	山 村 敬	" ( " )	" ( " )	"
	"	楠 瀬 勝	" ( " )	" ( " )	"
	"	小 谷 仲 男	" ( " )	" ( " )	"

併 任	56. 4. 1	長 沼 忠兵衛	教授 (人文学部)	教授 (文理学部)	文 部 大 臣
	"	木 下 良	" ( " )	" ( " )	"
	"	都 竹 通年雄	" ( " )	" ( " )	"
	"	山 口 博	" ( " )	" ( " )	"
	"	三 宝 政 美	" ( " )	" ( " )	"
	"	平 田 純	" ( " )	" ( " )	"
	"	奥 田 平八郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	吉 田 清	" ( " )	" ( " )	"
	"	提 山 淑 郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	中 本 昌 年	助教授 (人文学部)	助教授 ( " )	"
	"	木 下 喬	" ( " )	" ( " )	"
	"	鎌 田 元 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	岡 本 明	" ( " )	" ( " )	"
	"	山 崎 幸 雄	" ( " )	" ( " )	"
	"	佐 藤 進	" ( " )	" ( " )	"
	"	寺 津 典 子	" ( " )	" ( " )	"
	"	北 村 純 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	山 口 幸 祐	講師 ( " )	講師 ( " )	富山大学長
	"	中 村 良 郎	教授 (理学部)	教授 ( " )	文 部 大 臣
	"	北 野 孝 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	風 卷 紀 彦	" ( " )	" ( " )	"
	"	田 中 専一郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	斎 藤 好 民	" ( " )	" ( " )	"
	"	松 本 賢 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	杉 田 吉 充	" ( " )	" ( " )	"
	"	中 川 正 之	" ( " )	" ( " )	"
	"	児 島 毅	" ( " )	" ( " )	"
	"	高 木 光司郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	竹 内 豊三郎	" ( " )	" ( " )	"

併 任	56. 4. 1	川 井 清 保	教授 (理学部)	教授 (文理学部)	文 部 大 臣
	"	後 藤 克 己	" ( " )	" ( " )	"
	"	横 山 泰	" ( " )	" ( " )	"
	"	小 黒 千 足	" ( " )	" ( " )	"
	"	久 保 和 美	" ( " )	" ( " )	"
	"	小 林 貞 作	" ( " )	" ( " )	"
	"	広 岡 公 夫	" ( " )	" ( " )	"
	"	堀 越 叡	" ( " )	" ( " )	"
	"	川 瀬 義 之	" ( " )	" ( " )	"
	"	堀 令 司	" ( " )	" ( " )	"
	"	渡 辺 義 之	助教授 ( " )	助教授 ( " )	"
	"	鈴 木 正 昭	" ( " )	" ( " )	"
	"	関 口 健	" ( " )	" ( " )	"
	"	近 堂 和 郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	平 山 実	" ( " )	" ( " )	"
	"	岡 部 俊 夫	" ( " )	" ( " )	"
	"	常 川 省 三	" ( " )	" ( " )	"
	"	安 田 祐 介	" ( " )	" ( " )	"
	"	金 坂 績	" ( " )	" ( " )	"
	"	田 口 茂	" ( " )	" ( " )	"
	"	尾 島 十 郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	鳴 橋 直 弘	" ( " )	" ( " )	"
	"	井 上 弘	" ( " )	" ( " )	"
"	菅 井 道 三	" ( " )	" ( " )	"	
"	川 崎 一 朗	" ( " )	" ( " )	"	
"	小 畑 正 明	" ( " )	" ( " )	"	
"	道 端 斎	講師 ( " )	講師 ( " )	富山大学長	
"	東 川 和 夫	助手 ( " )	助手 ( " )	"	
"	水 野 透	" ( " )	" ( " )	"	



併 任	56. 4. 1	菅 谷 孝	助手 (理学部)	助手 (文理学部)	富山大学長
	"	林 有 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	吉 田 喜 孝	" ( " )	" ( " )	"
	"	濱 本 伸 治	" ( " )	" ( " )	"
	"	川 田 邦 夫	" ( " )	" ( " )	"
	"	中 川 邦 明	" ( " )	" ( " )	"
	"	高 安 紀	" ( " )	" ( " )	"
	"	金 森 寛	" ( " )	" ( " )	"
	"	東 軒 克 夫	" ( " )	" ( " )	"
	"	南 部 睦	" ( " )	" ( " )	"
	"	山 口 晴 司	" ( " )	" ( " )	"
	"	笹 山 雄 一	" ( " )	" ( " )	"
	"	野 口 宗 憲	" ( " )	" ( " )	"
	"	増 田 恭 次 郎	" ( " )	" ( " )	"
	"	佐 伯 信 男	文部技官 (施設課)	文部技官 (富山商船高等専 門 榎会計課施設係)	富山商船高等 専門学校長
	56. 4. 2	大 井 信 一	教授 (工学部)	工学部長・評議員 (56.4.2~58.4.1)	文 部 大 臣
	56. 4. 25	有 沢 一 男	" (教養部)	評議員 (56.4.25~58.4.24)	"
"	世 利 幹 雄	" ( " )	" ( " )	"	
休 職	56. 4. 1	高 岡 博	工学部管理係長	休 職	富山大学長
復 職	56. 4. 1	白 野 明	教育学部附属学校第一係長	復 職	"
退 職	56. 4. 1	老 田 正 憲	臨時用務員 (経済学部作業員)	昭和56年3月31日限り退職	富山大学長
	"	金 井 律 子	事務補佐員 (工学部)	"	"
	"	米 田 泉	" ( " )	"	"
	"	藤 野 良 雄	臨時用務員 (工学部作業員)	"	"
	"	大 野 教 山	事務補佐員 (教養部)	"	"
	"	塚 原 美 幸	" (附属図書館)	"	"
	56. 4. 2	坂 井 誠 一	教授 (教育学部)	昭和56年4月1日限り停年 により退職	文 部 大 臣
	"	植 村 元 覚	" (経済学部)	"	"
	"	井 上 浩	" (工学部)	"	"

退職	56. 4. 11	永井正夫	臨時用務員(教育学部作業員)	昭和56年4月10日限り退職	富山大学長
	"	佐伯正公	" (教養部作業員)	"	"
辞職	56. 4. 1	増山繁次郎	文部事務官(人文学部・理学部作業員長)	辞職を承認	富山大学長
	"	辻澤彌八郎	" (教育学部作業員長)	"	"
	"	松丘健治	文部技官(工学部営繕工)	"	"
	56. 4. 30	武田恵子	教務補佐員(教養部)	"	"

## 学 内 諸 報

### 名誉教授の称号授与

昭和56年4月停年退職された次の方々に対し、昭和56年4月17日付けで富山大学名誉教授の称号が贈られた。



名誉教授  
坂井 誠 一  
東京帝国大学文学部国史学科卒業  
文学博士

昭和18年5月富山県立高等学校教授兼富山高等学校教諭、同20年6月富山高等学校教授、同24年6月富山大学助教授(文理学部)、同39年10月同学教授(教育学部)となり、38年の永きにわたり日本史学を講じ、終始熱心に学生の教育・指導に専念された。

一方、30年にわたって県内の旧家等に所蔵する近世庶民史料の発見・解説・保存に努め、これらの新史料を材料として地方史研究の開拓・発展に尽された。その成果は数多くの著書・論文として結実したが、その中核ともいべき学位論文「加賀藩改作法の研究」によって同藩研究の水準を高め、ひいては日本幕藩体制研究の推進に重要な役割を果たした。



名誉教授  
植村 元 覚  
京都帝国大学文学部史学科卒業  
経済学博士

昭和21年10月富山高等学校講師、同24年5月富山大学富山高等学校教授、同年6月富山大学助教授(文理学部)、同28年8月富山大学教授(経済学部)、同34年2月富山大学教授(経済学部)となり、35年余りの永きにわたり、終始熱心に学生の教育・指導に専念された。

この間、本学の附属図書館長2期、経済学部長1期余り、評議員を6期を務め、本学の管理運営に寄与された。

一方経済地理学の教授として、研究に従事され研究論文は「近世富山売薬業形成の風土的考察」著書「行商圏と領域経済——富山売薬業史の研究」など発表され、本学のみならず地域社会の発展に貢献された。



名誉教授  
井上 浩  
仙台高等工業学校電気工学科卒業  
工学博士

昭和11年3月仙台高等工業学校電気工学科を卒業後東北卒国大学附属電気通信研究所勤務，昭和14年12月東北卒国大学工学部助手，同26年4月富山大学工学部講師を経て，同29年12月富山大学工学部電気工学科の教授に就任，同45年4月電子工学科に配置換となり今日に至っている。

この間大学において約45年にわたり教育，研究に従事し，教育者として多数の優秀な工業技術者を社会に送り出し，かつまた，幾多の教育研究者を指導育成し，その成果は極めて多大である。

同人の著書は「電気通信における同期とその応用」をはじめ，難解であるカウエル著の「浜波回路」，クリ

ロフとボゴリユーボフ共著の「非直線力学の新方式と真空管発振器への応用」等この分野で渴望されていた訳書及び非線型回路関係の著書を含め5編，また研究論文は，学会誌に採録されたもので15編以上，その他学術論文は200件以上に達し，産業界，学会に貢献した功績は非常に大きい。

学内においては，昭和42年から発足した大学院工学研究科（修士課程）の新設，電子工学科の設置，電子工学専攻の設置等に中心的役割を果たし，また，富山大学計算機センターの設立にも尽力し，第1期，第2期の計算機の機種選択にあたった。昭和50年6月から昭和52年5月まで富山大学評議員として大学の管理運営に参画し，大学及び学部発展の為に尽力した。なお学外においては，電子通信学会北陸支部長，電気学会北陸支部長を歴任し，地域社会に関しては，種種の通信回線，放送アンテナの設計及び各種対策，電子計算機の選定等地域の発展に寄与した。

## 海外渡航者

渡航の種類	所属	官職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	教授	小林 貞作	インドネシア，シンガポール，マレーシア	第4回アジア大洋州国際育種学会議出席と熱帯油脂植物資源の研究調査のため	56. 4. 25
						56. 5. 9
海外研修旅行	理学部	助教授	對馬 勝年	アメリカ合衆国	雪の性質に関する国際研究集会に出席のため	56. 4. 6
						56. 4. 12

## 職員消息

### 《改 姓》

#### 経済学部

文部事務官 長崎宏美 (旧姓元尾)

### 《新任者》

#### 事務局

庶務課長 松本 実

施設課長 前島健治  
学生課長 樋口信篤  
厚生課長 内海稔雄  
文部事務官 門前剛二  
" 澤崎勝彦  
" 能波輝之

**人文学部**

教 授 小谷仲男  
講 師 磯部 彰

**人文学部・理学部**

用度係長 林 征紀  
文部事務官 羽広孝司  
" 竹内 勝

**教育学部**

教 授 河野信広  
助 教 授 宗 孝文  
助 手 後藤敏伸  
教 諭 齊藤 昭  
" 老月敏彦  
" 糸谷邦雄  
" 布尾英二  
" 大場繁實  
" 窪田陽呂子  
" 常川允子  
文部事務官 川邊 誠

**経済学部**

講 師 飯田剛史  
" 萩野 聡  
文部事務官 山田 豊

**理学部**

助 教 授 久保文夫

**工学部**

助 手 高辻則夫  
管理係長 村中一男  
文部技官 米山嘉治  
事務補佐員 庄司久恵  
" 澁谷喜久子

**教 養 部**

講 師 石川義和  
教務補佐員 金森敦子

**附属図書館**

事務補佐員 田村清松

**トリチウム科学センター**

文部技官 三宅 均

《住所変更》

**教育学部**

教 諭 森 輝子

**経済学部**

文部事務官 武田正夫

**理 学 部**

助 手 南部 睦

**工 学 部**

文部事務官 石橋英二  
文部技官 山本辰美

**附属図書館**

事務補佐員 藤田洋子

《住所表示変更》

**教育学部**

教 諭 酒井元雄



---

 主 要 行 事
 

---

**本 部**

- 4 月
- 2～4日 昭和56年度入学手続
- 6～11日 補欠入学手続
- 7日 部課長会議  
計算機センター運営委員会
- 9日 部局長懇談会  
昭和56年度国立学校施設実態調査の説明会  
(於東京青山会館)
- 10日 昭和56年度富山大学入学式  
// 入学生オリエンテーション  
(10日～14日)
- 14日 トリチウム科学センター運営委員会  
文部省共済組合主管課長会議(於国立科学  
博物館)  
新入生健康診断
- 15日 会計係長会議
- 16日 昭和56年度第1回事務協議会
- 17日 // 評議会  
// 大学院委員会
- 20～21日 第59回東海・北陸地区国立学校等会計部課  
長会議(於静岡大学)
- 21日 トリチウム科学センター開所式
- 23日 授業料等減免選考委員会  
昭和56年度第1回補導協議会
- 24日 富山大学大学院理学研究科地球科学専攻入  
学式  
昭和56年度第1回構内交通対策委員会  
入学者選抜健康診断判定基準専門委員会
- 27日 東海・北陸地区国立大学長会議  
// 国立大学事務局長懇話会  
(於名古屋大学)
- 28日 昭和56年度学校基本調査説明会(於名古屋  
大学)

**文 理 学 部**

- 4月15日 前学期授業開始

**人 文 学 部**

- 4月6日 教授会
- 13日 拡大教務委員会
- 14日 新入生オリエンテーション及び健康診断  
将来計画委員会
- 15日 前学期授業開始  
教授会  
人事教授会
- 22日 将来計画委員会
- 24日 教務委員会
- 30日 学部補導委員会

**教 育 学 部**

- 4月6日 前学期授業開始  
附属小学校第1学期始業式
- 7日 図書委員会  
附属小学校入学式  
附属中学校第1学期始業式  
附属養護学校第1学期始業式  
附属幼稚園第1学期始業式
- 8日 合宿研修委員会  
人事教授会  
附属中学校入学式  
附属養護学校入学式
- 10日 附属幼稚園入園式
- 13～14日 昭和56年度春季北陸地区教員養成学部事務  
長協議会
- 14日 新入生オリエンテーション及び健康診断
- 15日 補導委員会

教務委員会・補導委員会合同会議

教務委員会

教授会

人事教授会

22日 合宿研修委員会

教育実習委員会

**経済学部**

4月8日 人事教授会, 教授会

学部教務委員会

9日 前学期授業開始

14日 新入生オリエンテーション及び健康診断

15日 拡大教務委員会

日本海経済研究所運営委員会

16日 各種委員選考委員会

17日 論集委員会

22日 学部将来構想検討委員会

各種委員選考委員会

学部図書委員会

教授会

学部教務委員会(持ち廻り)

25日 学部教務委員会(持ち廻り)

30日 学部補導委員会

**理学部**

4月9日 教授会

13~14日 大学院理学研究科地球科学専攻入学試験

14日 新入生オリエンテーション及び健康診断

15日 前学期授業開始

理学研究科委員会

24日 大学院理学研究科地球科学専攻入学式

27日 学部補導委員会

30日 ガラス加工室運営委員会

**工学部**

4月7日 学部教務委員会

8日 教授会

専任教授会

工学研究科委員会

13日 事務連絡会議

14日 新入生オリエンテーション及び健康診断

15日 前学期授業開始

30日 学部補導委員会

学科主任会議

**教養部**

4月8日 教務委員会

教務・補導合同委員会

補導委員会

教授会

教授のみの教授会

10日 新入生オリエンテーション

11日 前学期授業開始

15日 教授会

教授のみの教授会

22日 図書委員会

紀要委員会

24日 図書委員会

**附属図書館**

4月8日 係長事務打合せ会

17日 //

22日 図書館業務電算化研究会

行事予定

6月

23~24日 第28回国立大学附属図書館協議会総会

(当番大学: 琉球大学)

**トリチウム科学センター**

4月14日 トリチウム科学センター運営委員会

21日 // 開所式

**経学短期大学部**

4月1日 第1回教授会(持回り)

9日 第2回教授会

10日 入学式

新入生オリエンテーション

11日 新入生歓迎会

13日 前学期授業開始

16日 定期健康診断

21日 財務委員会

資 料

昭和56年度富山大学入学者数等調べ

(昭和56年5月1日現在)

	入 学 定 員	入 学 学 者 数	入 学 者						
			男	女	県 内	県 外	現 役	浪 人	大学検定
人文学部人文学科	90	90	49	41	50(30)	40(11)	73(37)	17(4)	0
人文学部語学文学科	80	80	30	50	51(38)	29(12)	63(43)	17(7)	0
計	170	170	79	91	101(68)	69(23)	136(80)	34(11)	0
教育学部小学校教員養成課程	140	140	34	106	117(89)	23(17)	119(94)	21(12)	0
教育学部中学校教員養成課程	50	50	28	22	43(18)	7(4)	37(19)	13(3)	0
教育学部養護学校教員養成課程	20	20	2	18	14(14)	6(4)	16(16)	4(2)	0
教育学部幼稚園教員養成課程	30	30	1	29	23(23)	7(6)	28(27)	2(2)	0
計	240	240	65	175	197(144)	43(31)	200(156)	40(19)	0
経済学部経済学科	120	120	110	10	62(10)	58(0)	95(10)	25(0)	0
経済学部経営学科	120	120	106	14	60(12)	60(2)	97(14)	23(0)	0
経済学部経営法学科	60	60	56	4	35(4)	25(0)	45(4)	15(0)	0
計	300	300	272	28	157(26)	143(2)	237(28)	63(0)	0
理学部数学科	40	39	32	7	22(5)	17(2)	32(6)	7(1)	0
理学部物理学科	40	40	37	3	10(2)	30(1)	27(3)	13(0)	0
理学部化学科	40	39	22	17	22(12)	17(5)	30(15)	9(2)	0
理学部生物学科	30	30	21	9	6(3)	24(6)	21(6)	9(3)	0
理学部地球科学科	30	30	27	3	8(2)	22(1)	19(3)	11(0)	0
計	180	178	139	39	68(24)	110(15)	129(33)	49(6)	0
工学部電気工学科	50	50	50	0	26(0)	24(0)	40(0)	10(0)	0
工学部工業化学科	45	45	41	4	23(2)	22(2)	38(4)	7(0)	0
工学部金属工学科	40	40	38	2	23(2)	17(0)	37(2)	3(0)	0
工学部機械工学科	50	49	49	0	19(0)	30(0)	36(0)	13(0)	0
工学部生産機械工学科	40	39	39	0	23(0)	16(0)	36(0)	3(0)	0
工学部化学工学科	40	40	36	4	29(4)	11(0)	32(4)	8(0)	0
工学部電子工学科	40	40	40	0	20(0)	20(0)	28(0)	12(0)	0
計	305	303	293	10	163(8)	140(2)	247(10)	56(0)	0
合 計	1,195	1,191	848	343	686(270)	505(73)	949(307)	242(36)	0
入学者(内訳) 百分比 (%)			71.2	28.8	57.6	42.4	79.7	20.3	

備考 ( ) 内は女子で内数

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190